

環境にやさしいお買い物は地球を救う

— スーパーマーケットのリサイクルループ —

ユニーグループ・ホールディングス株式会社
グループ環境社会貢献部 百瀬 則子



消費者に一番近くで企業活動をしているスーパーは、
低炭素社会・循環型社会・自然共生社会を実現した持続可能な社会の構築を目指しています。

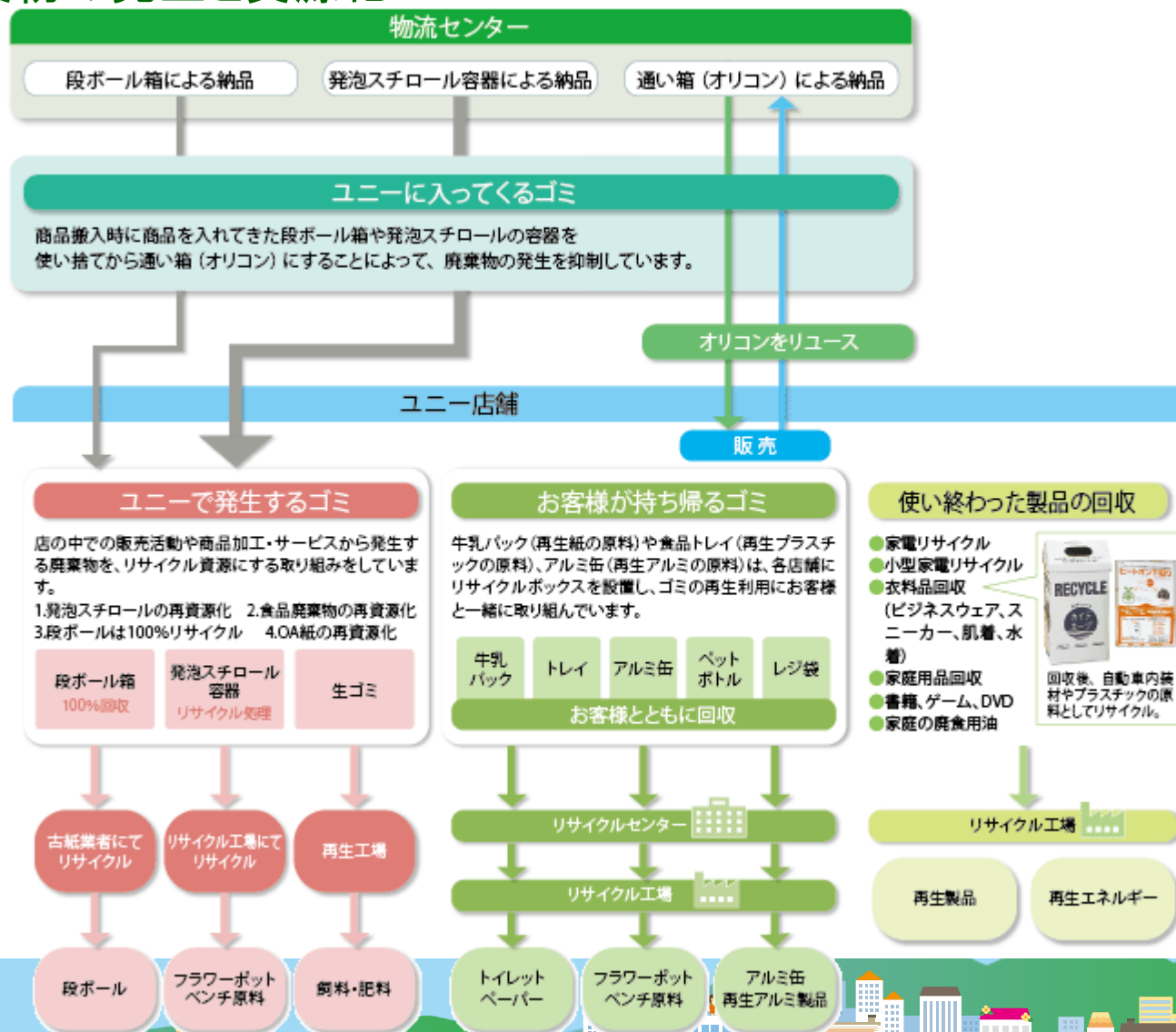
- 省エネ省資源、化石燃料を使用削減することなどで、低炭素社会を目指す
- 3Rを推進することで循環型社会を目指す
- 自然環境を保全し、生物多様性を守り、自然からの恵みを消費者にお届けする自然共生社会を目指す



持続可能な社会…現在のことだけではなく未来に向かって地球環境を壊さずに、人間や地球の生きものが
共存していく社会を構築していくこと、この未来に続く仕組みが持続可能な社会です。

営業活動から発生する廃棄物・・・発生抑制・リサイクル推進の取り組み

廃棄物の発生と資源化



営業活動から発生する廃棄物・・・発生抑制・リサイクル推進の取り組み

店舗から排出される廃棄物の発生抑制を図るために、発生場所や原因、種類などを正確に捉えることが必要です。

ユニーでは全店舗に廃棄物計量器を設置し、徹底した分別と排出場所・分類別に計量することにより、発生抑制・リサイクル推進に努めています。

●分別・・・リサイクル資源として活用するために素材毎に分けること

●計量・・・廃棄物発生状況を把握し、発生抑制効果を測定すること

廃棄物計量システム



売り場では廃棄物を種類ごとに別々の容器に分けて入れます。混ぜてしまうとリサイクルできないので、容器に入れる時にきちんと分



廃棄物は排出場所・分別毎にバーコードで管理し、計量器に載せ、重量を計ります。



シールを発行します。同時にデータは事務所の端末に記録、集計され、本社の端末に送信されます。テナントや売場には毎月集計された結果が告知されます。



計量した廃棄物は、それぞれ温度管理された廃棄物庫で保管されます。腐敗しやすい食品廃棄物などは冷蔵保管されます。



廃棄物発生量

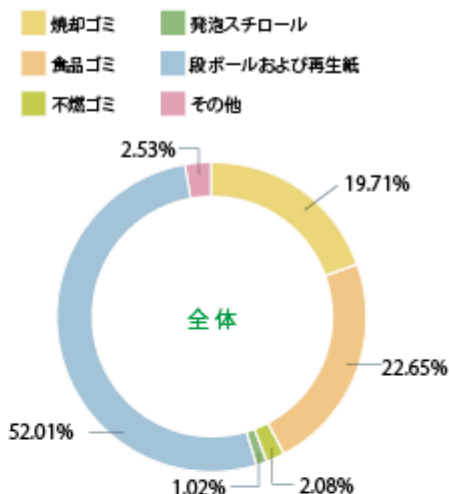
◆2014年度廃棄物排出量 廃棄物の分別・計量により 排出量が削減できています。

廃棄物排出量

(単位: kg)

区 分	種 類		2012年度	2013年度	2014年度	前年比[%]
可燃ゴミ	焼却ゴミ	一般可燃ゴミ	12,164,854	11,994,522	11,990,222	100.0%
		ビニール(食品系)	4,297,839	4,177,479	4,053,758	97.0%
		小計	16,462,693	16,172,001	16,043,980	99.2%
	食品ゴミ	生ゴミ	14,200,425	14,035,060	13,981,999	99.6%
		魚のアラ	2,520,947	2,322,053	2,236,762	96.3%
		てんかす	974,337	964,936	964,119	99.9%
		廃食用油	1,393,662	1,327,618	1,249,435	94.1%
		小計	19,089,371	18,649,667	18,432,315	98.8%
不燃ゴミ	ビン	1,058,184	1,129,825	1,223,503	108.3%	
	缶	491,763	482,476	470,864	97.6%	
	小計	1,549,947	1,612,301	1,694,367	105.1%	
発泡スチロール		958,302	903,002	829,406	91.8%	
段ボール および 再生紙	段ボール	40,409,890	40,681,559	39,826,230	97.9%	
	紙類(再生可)	2,417,343	2,472,695	2,507,907	101.4%	
	小計	43,785,535	44,057,256	42,334,137	98.1%	
その他	プラスチック	458,480	440,255	439,724	99.9%	
	ビニール(衣住系)	958,694	951,686	888,302	93.3%	
	ペットボトル	383,655	380,054	378,632	99.6%	
	陶器・ガラス	121,530	114,404	107,877	94.3%	
	金属カス	137,468	133,654	138,154	103.4%	
	その他	101,681	112,251	106,833	95.2%	
	小計	2,161,508	2,132,304	2,059,522	96.6%	
合 計		83,049,054	82,623,529	81,393,727	98.5%	

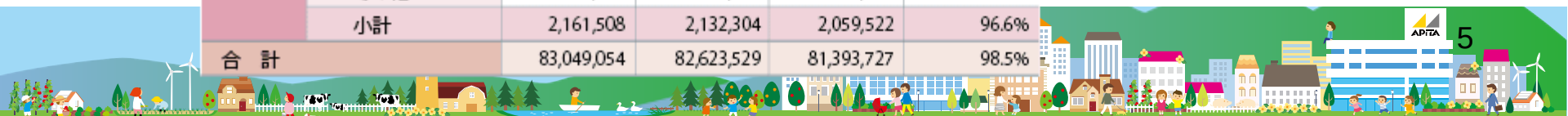
廃棄物構成比率



<廃棄物処理費は排出者負担です>

毎月店舗毎に排出量を集計して、テナント・コンセッショナリー毎に処理費(リサイクル費)を負担してもらっています。

廃棄物を削減するとコスト削減に
商品ロス削減で利益確保に

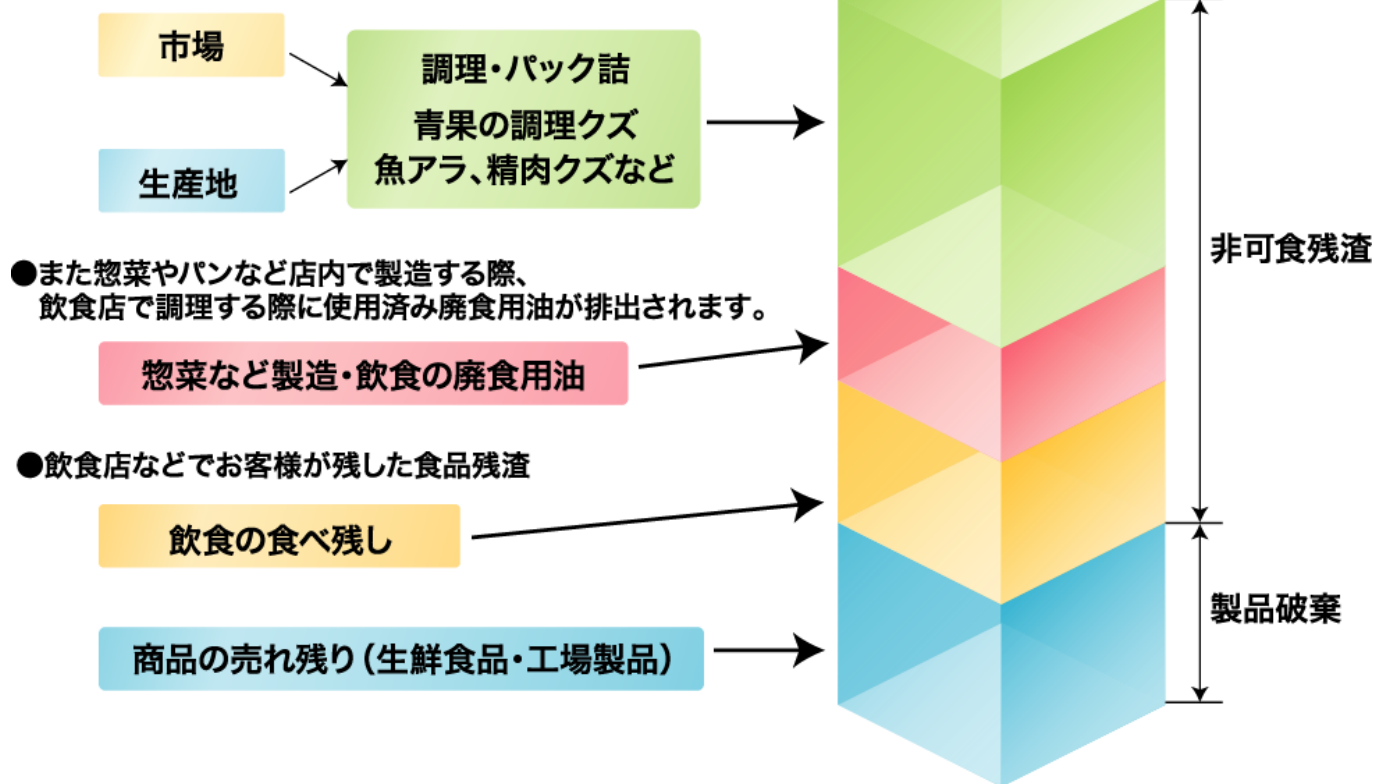


スーパーから排出される未利用食品

未利用食品の発生原因

- スーパーでは市場や生産地から生鮮食品が搬入され、売り場に出すために調理します。

その時に排出する、野菜クズや魚のアラ、精肉クズなど。



未利用食品は従来事業系一般廃棄物として、適正処分されてきました



消費期限と賞味期限の違いは？

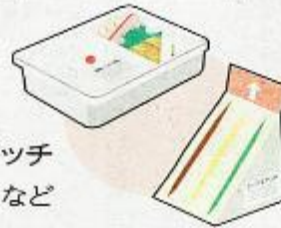
消費期限

期限を過ぎたら食べないほうがよいもの

意味

年月日で表示

- ・弁当
- ・生麺
- ・サンドイッチ
- など



対象の商品

賞味期限

おいしく食べることができる期限。期限を過ぎるとすぐに食べられなくなるということではない

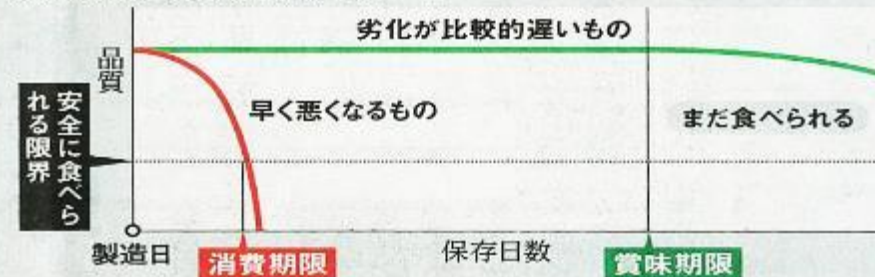
表示

3カ月を超えるものは年月で、3カ月以内は年月日で表示



- ・スナック菓子
- ・レトルト食品
- ・カップ麺
- ・缶詰 など

消費期限と賞味期限のイメージ



農林水産省のHPから

賞味期限を左右する主な要因

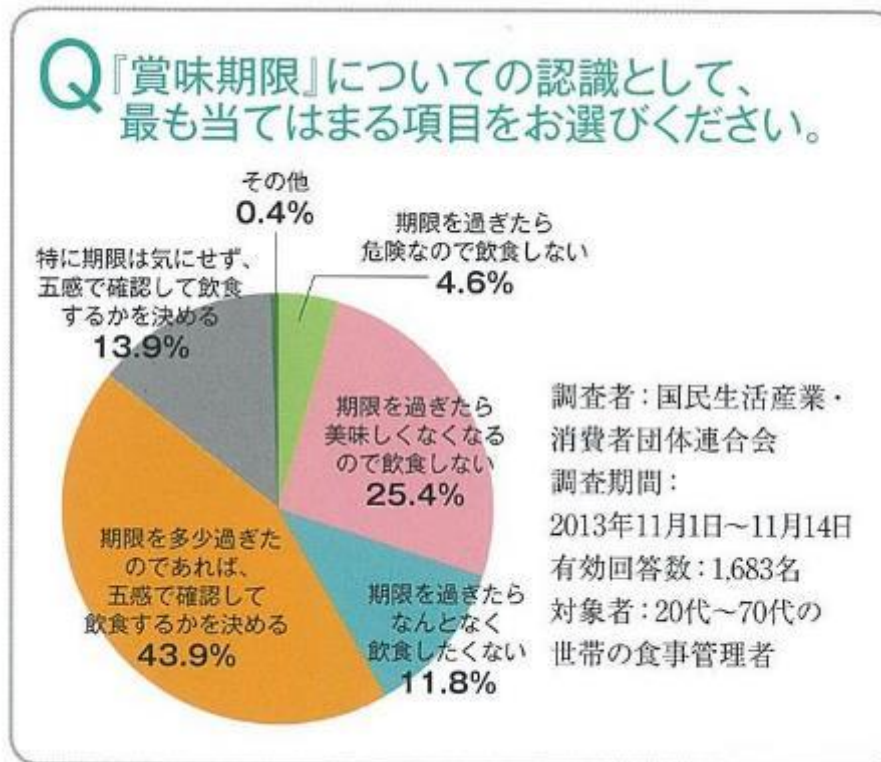
- 食品の水分量 微生物の増殖に影響
- 油脂の劣化 香りや風味を損なう
- 包装の素材 食品の品質維持に影響

グラフィック・野口 哲平

出典：中日新聞

消費期限・賞味期限についての理解

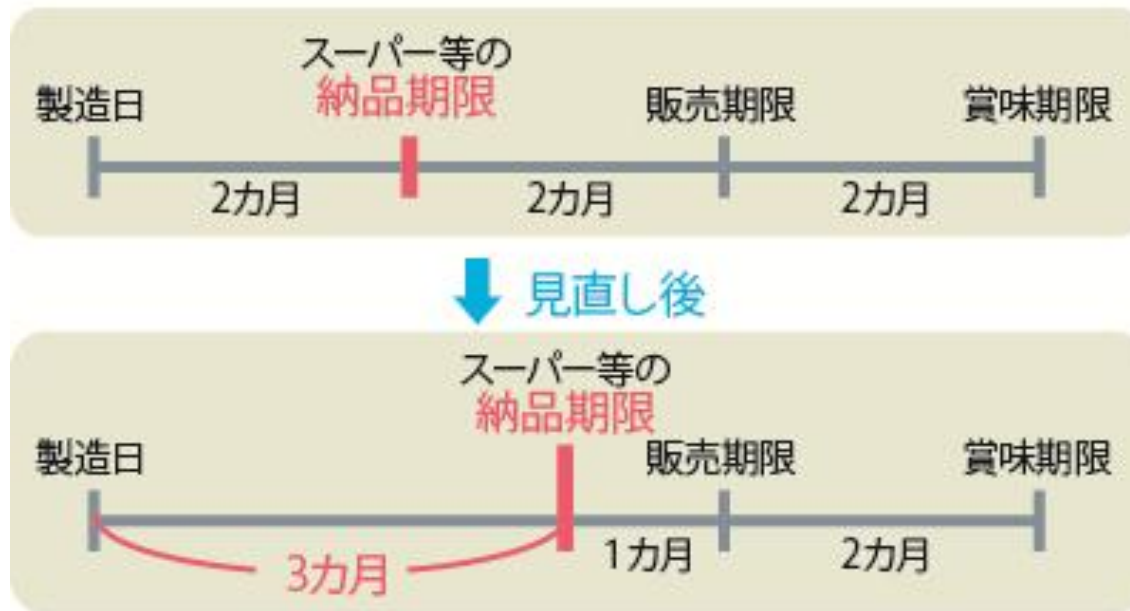
消費期限・賞味期限についての認識・行動をみると、期限表示を理解しているとした9割以上の方が必ずしも表示の定義どおりに認識・行動していず、「期限が過ぎても五感で判断する」という人は6割4しかいませんでした。



食品ロスの大きな原因となる賞味期限

食品ロスを削減するために、納品期限の見直しがされてきています。

納品期限見直しの例（賞味期間が6カ月の場合）



未利用食品を再生資源化する・・・食品リサイクルループ

未利用食品を再生利用する方法として、堆肥や飼料に資源化し、それを使って生産した農畜産物をまた販売する循環型農業、食品リサイクルループを構築するために取り組みました。

愛知経済連の協力で堆肥を利用する
JAあいち海部のエコ部会が成立し、
ループが完成しました。



<課題>

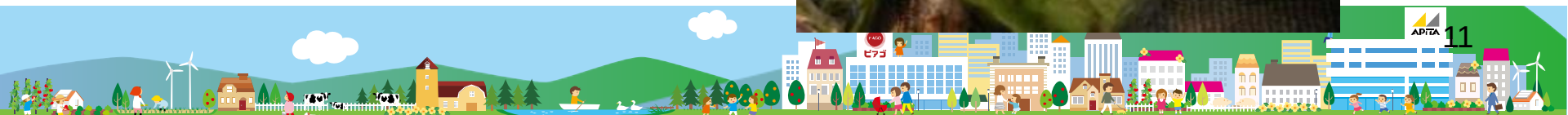
- 未利用食品を原料にした堆肥の品質が適正であること
- 堆肥場を一般廃棄物処理場として、自治体から許可を得ること
- 他の自治体から未利用食品を搬出・搬入するための許可を得ること
- 農業生産者が、堆肥を使って生産してくれること
- 生産された農作物を販売すること

食品リサイクルループによるメリット

食品リサイクルループはバリューチェーンを確立しているので、トレーサビリティが明確で、生産者の顔の見える安全安心な農作物を消費者に提供できる仕組みです。

①地元の農業生産者との協働なので、地産地消の取り組みになる。

→地域農業活性化につながり、小売事業者も生産者とのつながりができ、魅力のある売り場が作れる。



環境にやさしい容器包装

セルフサービスで販売しているスーパーでは、容器包装に入った商品を販売し、また贈答などで包装を承れば紙やプラスチック製の包装を施します。

- 容器包装は商品の品質や衛生を保つ役割を果たします。
- 手軽に安全に持ち運ぶ役割を担っています。

ところが、これらの使用済み容器包装は、家庭から排出されるゴミの50%にもなっています。

これら容器包装を見直すことで、ゴミの削減・資源の節約・CO2の発生抑制を図っています。

- ①容器包装をできるだけ使わない販売への取り組み
- ②使った後の容器包装を廃棄物にしないで再生資源とする取り組み
- ③サステナブル（持続可能な）原料を使った容器包装への取り組み



環境にやさしい容器包装

① 容器包装をできるだけ使わない販売への取り組み

お客様と一緒に「使わなくてもよい容器包装」を削減する。

- ノーレジ袋キャンペーン
- レジ袋無料配布中止
- ばら売りなど容器包装を使わない販売
- 容器包装の計量化・小型化・肉薄化
- トレイを使わない販売
- 贈答品などの簡易包装
- マイボトル・マグカップなどの利用

レジ袋削減のための取り組み

■ お買い物袋持参運動開始	■ マイバッグキャンペーン	■ レジ袋の無料配布中止
1989年に愛知県一宮市で「使用済みのレジ袋を再び使用しましょう」という、お買い物袋持参運動を開始しました。	2001年からは「何度も使えるレジ袋代わりのマイバッグ」をスタンプカードと交換で差し上げるマイバッグキャンペーンを始めました。	名古屋市緑区で、他のスーパーと一緒に有料化を進めました。市民や市の職員と一緒にキャンペーン活動をしました。
 お買い物袋持参運動の啓蒙を受ける従業員（1989年11月、サンクス一宮店）		 名古屋市緑区アピタ増穂店

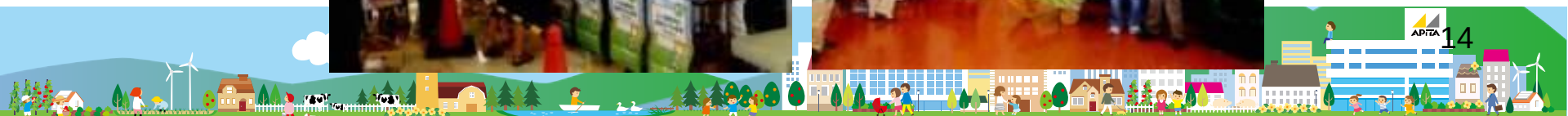


環境にやさしい容器包装

2007年
資料

名古屋市の市民団体や市役所の皆様とキャンペーンを実施

参加店舗全店でキャンペーンを実施し、消費者の皆さんに協力をお願いしました。



環境にやさしい容器包装

2013年辞退率……77.5%
 レジ袋枚数109,528枚 821t
 リサイクル料 1億5,866万円
 長野県・愛知県全域で無料配布中止

2014年辞退率……86.0%
 レジ袋枚数6,845枚 616t
 リサイクル料 1億6,104万円
 関西2県含め、全店舗で無料配布中止完了

レジ袋辞退率の推移



※2014年2月20日全店でのレジ袋有料化実施

レジ袋使用量の推移^{※1}

年度	枚数(単位:千枚)	重量(単位:t)	備 考
2007	310,559	1,818	レジ袋無料配布の中止
2008	309,222	1,851	96店舗で無料配布中止
2009	134,678	1,029	170店舗で無料配布中止
2010	116,749	964	約73%の店舗で無料配布中止
2011	111,632	851	四日市市・弥富市などの店舗が加わる
2012	110,743	839	約80%の店舗で無料配布中止
2013	109,528	821	滋賀県、長野県、愛知県全域で無料配布中止
2014	6,845	616	関東8県、関西2県含め全店舗で無料配布中止

※1 2008年にユースストアと合併し80店舗増える

※2 容器包装リサイクル法に基づき、財団法人日本容器包装リサイクル協会へ支払った委託金額

容器包装リサイクル法への対応^{※2}

年度	委託金額
2007	2億9,729万円
2008	2億7,978万円
2009	2億2,272万円
2010	1億6,655万円
2011	1億6,154万円
2012	1億4,868万円
2013	1億5,866万円
2014	1億6,104万円



環境にやさしい容器包装

②使った後の容器包装を廃棄物にしないで再生資源とする取り組み

使用済みの容器包装を店頭回収してリサイクルする。

お客様が商品と一緒に持ち帰った容器包装を、店頭で回収し、荷物の帰り便でリサイクルセンターに集約します。

店頭回収で収集した容器包装は、リサイクルルートが構築されたものだけを対象にしています。



弥富物流センター内のリサイクルセンター



環境にやさしい容器包装

②使った後の容器包装を廃棄物にしない取り組み

お客様が商品と一緒に持ち帰った容器包装を回収し、再生資源にする。

・使用済み容器包装の店頭回収、再生品を製造して販売（トイレットペーパーなど）



リサイクル量の推移

(単位: kg)



参加店舗数と参加率の推移

年度	参加店舗	食品取扱店舗	参加率 (%)	回収量 (kg)
2010	223	223	100.0	621,980
2011	217	217	100.0	598,709
2012	217	217	100.0	575,332
2013	220	220	100.0	581,646
2014	223	223	100.0	542,743

環境にやさしい容器包装

■ 容器包装削減とリサイクルによるCO₂削減

- レジ袋を辞退すると、1枚につき30.8gのCO₂が削減できます。

ユニーが2006年に使用したレジ袋 …… 3億3,363万枚

ユニーが2014年に使用したレジ袋 …… 6,845万枚

差引 2億6,518万枚削減 (CO₂は2006年度対比8,250tの削減)

2014年度リサイクル回収によるCO₂削減量

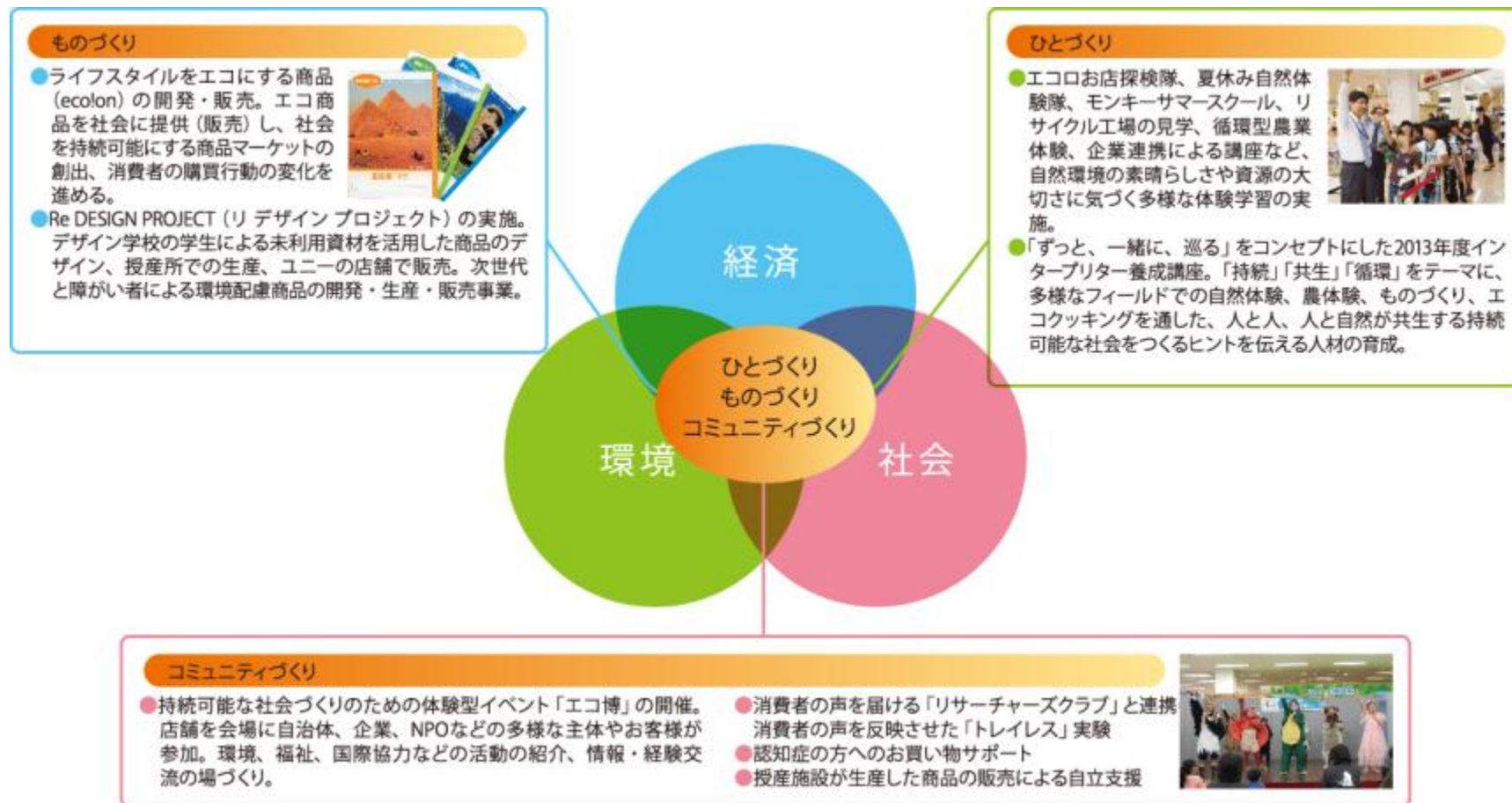
	回収実績 (kg)	CO ₂ 削減量 (kg)
アルミ缶	605,198	5,204,706
牛乳パック	542,743	271,372
食品トレイ	280,492	1,767,103
ペットボトル	2,126,669	7,656,009
合 計	3,555,103	14,899,189

- リサイクルボックスで回収すると
アルミ缶1kgで8.6kgのCO₂削減
牛乳パック1kgで0.5kgのCO₂削減
食品トレイ1kgで6.3kgのCO₂削減
ペットボトル1kgで3.6kgのCO₂削減



ユニーのESD

持続可能な社会の実現には「環境と経済と社会の調和」が必須であるといわれています。
ユニーでは、環境・経済・社会の調和を重視した、ひとづくり・ものづくり・コミュニティ作りを進めています。
そのプロセスが人々の学びあい、ESDです。



環境学習

エコロお店探検隊

店長を探検隊長にして、地域の子ども達が店内を探検しながら、お店の環境保全活動や、環境にやさしいお買い物を学びます。

リサイクルの
秘密を知ろう

使い終わった容器の行方を見学!

家庭から排出される容器包装をリサイクルステーションで回収しています。回収することで、ゴミではなく新しいものに生まれ変われることを伝えます。



地球にやさしい
お買い物をしよう

環境ラベルの意味を学ぼう!

子ども達が身近な文房具についている環境ラベルを探します。普段使用している下敷きやノートにも、リサイクルされたものや環境にやさしい素材で作られたものがあります。



お店の裏側を
探検しよう

お店から出るゴミの行方を知ろう!

店舗の裏側を見学します。店舗から出るゴミは19種類に分別し、計量しています。計量することで、ゴミを減らすよう意識を高めます。また、折り畳み式のコンテナを使用し、段ボールの使用抑制に取り組んでいます。



エコ工作に
チャレンジしよう

使わなくなったものを材料にした工作体験!

通常なら捨てられてしまう容器包装などを使用したり、自然の素材を使ったエコ工作を行います。捨ててしまえばゴミになってしまうものも工作で生まれ変わります。



環境学習

一宮市にある堆肥場で未利用食品(生ごみ)を原料に堆肥を製造します。

子ども達は堆肥場で、未利用食品(生ごみ)が堆肥になるところを見学しました。



出来上がった堆肥は完熟なので、臭いもなく熱くもない、さらさらの土のようです。

子ども達は手で触って確かめました。

「野菜クズ」と「魚のアラ」を堆肥場に入れて、発酵させ、堆肥を作ります。発酵するときにガスが発生して臭気が強く、子ども達はちょっとびっくり、でも、生ごみを堆肥にしてくれるのは小さなバクテリアです。ガスを出し、熱を出して堆肥を作っています。



農業体験

堆肥をまいた畑で大根の収穫体験をしました。



一人2本抜くことになり、子ども達はどれを抜こうか、真剣に選んで、一番太くてまっすぐな大根を探して、力いっぱい抜きました。



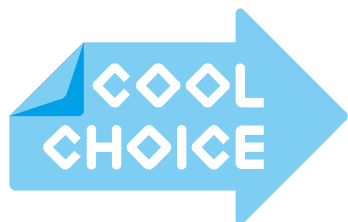
みんな選んで抜いた大根を持ってごきげんです。大根はいえで待っている家族へのお土産。自分で抜いた大根はちょっと自慢です。



お買い物でCOOL CHOICE

未来のために賢く選んでお買い物

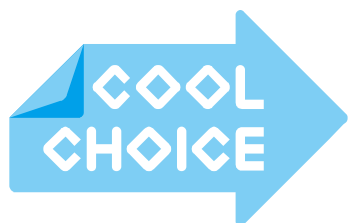
●使い終わった容器包装はリサイクルボックスで COOL CHOICE



未来の
ために、
いま選ぼう。



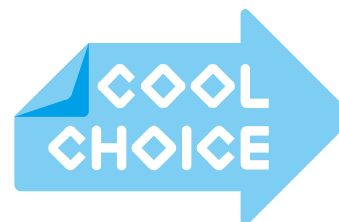
●環境配慮商品 eco!onを買うと COOL CHOICE



未来の
ために、
いま選ぼう。



●スーパーへは電気自動車で... COOL CHOICE



未来の
ために、
いま選ぼう。



ESD (Education for Sustainable Development)

持続可能な開発のための教育

ユネスコESD世界会議が2014年11月に
愛知県・名古屋市で開催されました。

地球温暖化、資源の浪費と枯渇、
生態系サービスの劣化などで、
私達人間の生存基盤である地球環境が
持続不可能になりつつあります。

ユニーはESDに協賛し、
次世代の子ども達に地球をまるごと残せる
環境社会貢献活動を推進します。

未来に地球を まるごととおこう！

のり少なくなっている石油・石炭。今でも水や食べ物が足りない国。
もうすぐ、なくなってしまうかも…。
石油・石炭・水・食べ物など、むだづかいしないで、
ちゃんととっておいて、未来につなげましょう。



大切なのは「いっしょに」「めぐる」「つづく」
みんなで考えて、どんな小さなことでもいいから
できることをやってみよう。



私たちはおぼろげに
この地球上の人々や、これから生まれてくる人々が、ずっと
幸せに暮らしていくにはどうしたらいいか、みんなで調べたり
考えたり、意見を出し合ったりしながら学ぶことをESDとい
います。(Education for Sustainable Development)



ユニーグループホールディングス株式会社